

平成21年度 学校法人東京音楽大学 事業報告書

目 次

<p>第一 法人の概要 1</p> <p>1 設置する学校・学部・学科等 1</p> <p>2 沿革 2</p> <p>3 入学定員、学生数 2</p> <p>4 入試状況 2</p> <p>5 学校法人役員等 3</p> <p>6 教職員数 3</p> <p>第二 事業の概要 4</p> <p>総括 4</p> <p>第三 項目別概要 4</p> <p>1 人事 4</p> <p>2 施設・設備（コスト削減・省節エネルギーの推進） 4</p> <p>3 企画・広報 5</p> <p>4 受験講習会の開催 5</p> <p>5 大学部門 5</p> <p> (1) 入学試験 5</p> <p> (2) 自己点検・評価 5</p> <p> (3) カリキュラムに関する改正 6</p> <p> (4) 文部科学省科学研究費補助金 6</p> <p> (5) 三大学連携プロジェクト 6</p> <p> (6) 演奏活動 7</p> <p> (7) 東京音楽大学コンクール 9</p> <p> (8) 招聘者による公開レッスン 10</p> <p> (9) 教職課程 10</p> <p> (10) 国際交流 10</p> <p> (11) 学生支援・キャリア支援 11</p> <p> (12) 地域連携 12</p> <p> (13) 大学院 12</p>	<p>6 附属図書館 12</p> <p>7 附属高等学校 13</p> <p>8 附属幼稚園 14</p> <p>9 附属音楽教室 14</p> <p>10 附属民族音楽研究所 15</p> <p> (1) 社会人講座 15</p> <p> (2) ガムラン演奏コース授業 15</p> <p> (3) 公開講座 15</p> <p> (4) 「日本の音」夏期特別体験講座 16</p> <p> (5) 講演「童話雑誌『赤い鳥』にゆかりの童謡について」 16</p>
---	---

平成21年度 学校法人東京音楽大学 事業報告書

第一 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

大学	大学院音楽研究科	器楽専攻	鍵盤楽器・弦楽器 管・打楽器・室内楽
		声楽専攻	オペラ・独唱
		作曲指揮専攻	作曲・指揮
		音楽教育専攻	音楽教育・音楽学・ソルフェージュ
	音楽学部音楽学科	声楽専攻	声楽 声楽演奏家コース
		器楽専攻	ピアノ・ピアノ演奏家コース・チェンバロ オルガン
		弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ コントラバス・ハープ・クラシックギター
		管・打楽器	フルート・オーボエ・クラリネット・ ファゴット・サクソフォーン・ホルン・ トランペット・トロンボーン・テューバ・ ユーフォニアム・打楽器
		作曲指揮専攻	作曲／芸術音楽コース 作曲／映画・放送音楽コース 作曲／ポピュラー・インストゥルメンツコース 指揮
		音楽教育専攻	応用音楽教育コース 実技専修コース

付属図書館

付属民族音楽研究所

付属高等学校 全日制課程音楽科 声楽専攻 器楽専攻 作曲専攻 音楽総合コース

付属幼稚園

付属音楽教室

2. 沿革

明治40年5月	東洋音楽学校設立(神田区)
大正13年11月	豊島区雑司が谷(現南池袋)に移転
昭和22年5月	財団法人東洋文化学園と改称
昭和24年3月	東洋高等学校(音楽科)開設
昭和25年2月	東洋幼稚園開設
昭和26年3月	学校法人東洋文化学園認可
昭和29年2月	東洋音楽短期大学設置認可
昭和38年2月	東洋音楽大学設置認可
昭和44年8月	名称変更認可 学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称 東洋音楽大学を東京音楽大学に改称 東洋高等学校を東京音楽大学付属高等学校に改称 東洋幼稚園を東京音楽大学付属幼稚園に改称 東洋音楽学校を東京音楽学校に改称
昭和45年3月	東洋音楽短期大学廃止認可
昭和51年7月	東京音楽学校廃止認可
平成5年3月	東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可

3. 入学定員、学生、生徒、園児数

(平成21年5月1日現在)

	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学(園)者数 (人)	在籍者等数 (人)
大学院音楽研究科	45	90	67	128
音楽学部音楽学科	310	1240	389	1563
付属高等学校音楽科	75	210	70	245
付属幼稚園		150	26	77
音楽教室				103

4. 入試状況

(1) 大学院音楽研究科入学試験状況

専攻	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
器楽専攻	53	51	33	33
声楽専攻	34	32	26	25
作曲指揮専攻	4	3	3	3
音楽教育専攻	8	8	6	6
合計	99	94	68	67

(2) 音楽学部音楽学科入学試験状況

専攻	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数
	推薦	一般	特別	小計	推薦	一般	特別	小計	推薦	一般	特別	小計	
声楽専攻	5	94	17	116	5	94	16	115	5	88	7	100	82
器楽専攻	56	367	34	457	56	362	31	449	54	246	7	307	247
作曲指揮専攻	2	36	0	38	2	35	0	37	2	23	0	25	23
音楽教育専攻	9	142	0	151	9	138	0	147	4	40	0	44	37
合計	72	639	51	762	72	629	47	748	65	397	14	476	389

(3) 付属高等学校入学試験状況

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦	17	17	7	7
一般	86	85	81	63
編入学	2	2	2	2

(4) 付属幼稚園考査状況

	志願者数	受験者数	合格者数	入園者数
3年保育	43	42	42	21
2年保育	8	7	7	5

(5) 付属音楽教室入室試験状況

(平成21年5月1日現在)

	志願者数	受験者数	合格者数	入室者数
ピアノ	5	5	5	5
ピアノオープンシステムコース	13	13	13	13
ヴァイオリン	3	2	2	2
合計	21	20	20	20

5. 学校法人役員等 (平成21年5月1日現在)

役員

理事長	鈴木 勝利	理事 (学長)	海野 義雄			
理事	佐々木 正峰	佐々木 亮	高祖 敏明	野本 正平	永山 義高	
	丸山恵一郎	原山 耕造				
監事	吉田 恭治	保倉 裕				
評議員	鈴木 勝利	永山 義高	野本 正平	大谷 康子	坂本 紀男	
	鈴木 信五	鷺見加寿子	西村 朗	林 ひろみ	広上 淳一	
	釜洞 祐子	三浦 捷子	山本 孝	稲葉 良太	木島 健一	
	野町 義人	原山 耕造	本田 義行	世良 博		

諸機関の長

東京音楽大学長	海野 義雄
大学院音楽研究科長	海野 義雄
付属図書館長	坂崎 則子
付属民族音楽研究所長	池辺 晋一郎
付属高等学校長	野本 正平
付属幼稚園長	坂本 紀男
付属音楽教室長	三浦 捷子

6. 教職員数 (平成21年5月1日現在)

大学	専任教員 124名	兼任教員 280名	専任職員 64名
付属高校	専任教員 11名	兼任教員 33名	専任職員 3名
付属幼稚園	専任教員 8名	兼任教員 8名	
付属音楽教室		兼任教員 9名	
付属民族音楽研究所	専任研究員 1名		

第二 事業の概要

総括

18歳人口の急激な減少や国際金融情勢の影響など大学法人を取り巻く環境は、年々厳しさを増している。

平成21年度は、新型インフルエンザが大流行し、本法人もその影響を受けることとなった。しかしながら事態の早期把握と適切な対応により感染の広がりを最小限にとどめることができた。特に秋季以降の演奏活動、入学試験や卒業試験等への影響を心配したが、幸いにも流行が下火になったこともあり、本法人ではこれらの事業への影響はほとんどなかったと言える。

本法人の事務組織については、事務の効率化の観点から8月1日付けで、法人室と庶務課を統合し「総務課」に、入試課の入試広報業務を広報課に一元化して、広報課の名称を「企画・広報推進課」に、入試課と大学院・社会人教育課を統合して「教務二課」に、キャリア支援室と学生課を統合して「学生支援課」に、教務課の名称を変更して「教務一課」にそれぞれ組織を改編した。

教学面においては、「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を8月1日付けで設置し、長年の懸案であったファカルティ・ディベロップメント活動を全学が一丸となって組織的に推進することとなった。

3月25日には、本学と上智大学との間において学生交流協定を締結し、次年度より単位互換の制度を実施することとした。今後、両大学は、双方の特色ある授業科目を開放して学生の交流を行うことにより、学生の幅広い視野の育成と学生の意欲の向上を図る。

さらに、入学試験の成績が特に優秀な者に学費の免除を行う制度として「特別特待奨学生」制度を8月1日付けで、学部及び大学院に在籍する学生で学業成績が極めて優秀な学生に学費を免除する「学長特待奨学生」制度を3月23日付けでそれぞれ発足させ、その制度にふさわしい学生が選考された。

シンフォニーオーケストラでは、学生によるオーケストラを2グループ編成し、11月22日—広島、11月23日—名古屋においてユニセフチャリティ演奏会を行った後、11月26日には東京芸術劇場において定期演奏会を実施し、もう一方のグループは、12月1日 京都においてユニセフチャリティ演奏会を実施した後、12月13日には東京芸術劇場での音楽大学オーケストラフェスティバルに出演し、それぞれ大成功を収めることができた。

第三 項目別概要

1. 人事

(1) 教員人事計画

人件費総額を削減するため、平成22年度の新採用・昇格は必要最小限にとどめ、特に、専任教員数は他大学と比較しても飛び抜けて多いので、新専任教員の人数枠を、非常勤からの内部昇格も含めて、当面は1年度につき全体で1～2名とした。また、非常勤教員についても、全員に対し委嘱の必要性の有無を確認し、総枠では増やさないという基本スタンスに沿って各部会（科）へ依頼し検討を進めた。その結果、前年度比で専任教員（学部）は2名減になった。

この人事計画の中で、音楽教育部会では、非常勤助手の公募を行い、31名の応募があり、選考の結果、1名を採用した。また、幼稚園助手についても公募を行い、6名の応募があり、選考の結果、2名を採用した。

(2) 職員人事計画

正職員数の大幅な減少に対し、補充は極力行わず派遣スタッフなどで代替してきたが、今回は30歳代及び20歳代の若手の補強のための公募を行った。70名（男36名、女34名。非常勤職員からの応募も含む）の応募があり、選考の結果、30歳代1名と20歳代2名を採用した。

2. 工事・物品購入計画の内容見直しによるコスト削減・省節エネルギーの推進

平成20年11月よりB館新システムによる空調の運用が開始されたことにより、空調設備機器の各種メンテナンス・更新・ランニングコストが大幅に削減された。また、機械室の空調設備機器が殆ど不要となり、練習室への転用の為撤去工事を行った。また、旧日出小学校の契約解除、付属図書館では書籍の倉庫借を解除し、K館地下倉庫に移動するなどの使用施設の見直しを行った。

次年度に繰越可能な年度内工事について再検討し、当該工事について今年度は、準備工事に変更することにした。以上のことから、ランニングコストの削減、工事内容の見直しや、次年度繰越しにより、予算返納（約3000万円）に努めた。（予算約8100万/支出約5000万円）

省節エネルギーによる水光熱費の削減（受電契約・システムの変更等）では、BCE館系統の冷暖房設備

の改修（蓄熱式の全館集中空調から個別エアコンへ変更）により、水光熱費が大幅に削減（約 450 万円）され、また、A 館では契約受電の変更により減額（約 850 万円）されている。

主な施設の改修

- ① PC 教室改修工事
- ② B 館地階空調機器撤去工事
- ③ 管楽器練習場の移設
- ④ K 館中会議室改修
- ⑤ 目白台グラウンド（プールを倉庫として再利用）
- ⑥ 校舎耐震化計画
耐震計画の立案・作業部会での計画策定

3. 企画・広報

(1) 印刷媒体広報業務

大学案内作成・配布 : (22,000 部)
大学広報誌「東京音大ジャーナル」作成・配布 : (34,000 冊×3) 5 月、7 月、12 月の年 3 回発行
各種広告宣伝 : 新聞、音楽関連雑誌、演奏会及びフェスティバル等の
プログラムへの大学案内
「東京音大カレンダー」作成・配布 : (33,000 冊)

- (2) ホームページの更新 : 新規及び削除項目の迅速な対応
- (3) 高等学校訪問 : 業者主催及び単独訪問での大学概要説明
- (4) 音楽高校への出張公開レッスン : 各高校からの派遣講師依頼
- (5) 学校見学案内業務 : 高校生、中学生、保護者等大学見学者に対する大学案内、説明、
レッスン見学等
- (6) その他臨時業務 : 各種演奏会準備、宣伝・集客業務

4. 受験講習会の開催

(1) 夏期受験講習会

講習期間 : 平成 21 年 7 月 26 日～7 月 30 日<大学・高校>
受講者数<大学>521 人 <高校>124 人

(2) 冬期受験講習会

講習期間 : <大学>平成 21 年 12 月 25 日～12 月 29 日 受講者数 578 人
<高校>平成 21 年 12 月 23 日～12 月 27 日 受講者数 126 人

5. 大学部門

(1) 入学試験

- ①大学入試センター試験 平成 22 年 1 月 16 日～17 日 目白大学と共同実施 受験者数 500 人
- ②付属高校からの推薦入学 合格者 : 65 人
- ③一般入学者選抜試験
試験期間 : 平成 22 年 2 月 16 日～20 日 合格者 : 385 人
- ④<声楽・器楽>特別選抜試験
試験期間 : 平成 22 年 3 月 22 日～24 日 合格者 : 14 人

(2) 自己点検・評価

平成 21 年 3 月認証評価において本学は大学としての基準を満たしていると認定されたが、今年度は、その際指摘された課題への対応を推進した。また従来、この受審準備の中で、各種課題への的確な理解の重要性が強く認識され、自己点検・評価に責任の持てる実務的な人材の発掘・育成が行われてきたが、そのことにより初めて得られ「凝縮」されてきた的確な理解が全学的な了解事項として広がるよう、これからの時期を理解の「拡大」期と想定している。このことは自己点検評価報告書に記載されており、さらに上記指摘事項の中で、対応の継続性を重視するよう求められている。これらのことを確実なものとするため、まず自己点検評価委員会内部において前年度認証評価についての学習会を行い、全学的理解を広げる第一歩とした。

自己点検評価委員会開催

第1回 9月30日(水)17:15～ 認証評価受審の状況について、その他

第2回 11月11日(水)17:30～ 学習会とし、欠席した委員を対象に12月11日(金)にも同様のことを行った。

第3回 4月22日(木)17:20～ 自己点検評価委員会2009年度の事業について、その他

(3) カリキュラムに関する改正

音楽教育専攻旧カリキュラム「総合音楽教育」単位未修得者の救済措置

上智大学と本学との単位互換提供科目及び本学の受入措置

上智大学との学生交流協定

ミュージック・コミュニケーション講座Ⅰ・Ⅱ」開設について

学事暦・授業レッスン回数の調整

音楽教育専攻1年次生カリキュラム変更

早期卒業制度の実施とそれに伴う内規の制定と学則の変更

履修単位の上限設定(48単位を上限とする。ただし、3年を超えて在学している学生については、上限を定めない。)とそれに伴う学則の変更

「日本語表現法」開設について

教員免許状取得に必要な外国語科目の内規の改定

「教職課程実用英語」と外国語の卒業要件

「演奏会演習」と履修単位の上限との調整

(4) 文部科学省科学研究費補助金

直接経費354万円、間接経費106.2万円の交付を受けた。

基盤研究(C) 2件 (新規1、継続1)

若手研究(S) 1件 (継続1)

(5) 三大学連携事業及びACTプロジェクト

(a) 前年度の音楽系3大学による合同フォーラム「音楽の新しい学び」実施を契機に発展させた連携事業を、文部科学省平成21年度「大学教育充実のための戦略的三大学連携支援プログラム」に応募し、7月10日付で選定された。

取組名称：音大連携による教育イノベーション 音楽コミュニケーション・リーダー養成に向けて

申請大学：本学(代表校)、昭和音楽大学、神戸女学院大学

補助対象年度：2009～2011年度

補助金額：2009年度3大学合計3,767.3万円(うち本学1,980万円)

(b) 三大学連携事業選定を受け、3大学の連携により次のことを行った。

・ミュージックコミュニケーション講座(トライアル)

次年度の単位化に向けて、3大学の同時中継により各大学から1回ずつ発信してトライアル講座を行った。

11月11日(水) 神戸女学院大学から 講師：仲道郁代(ピアニスト)

12月2日(水) 18:30～20:00 昭和音楽大学から 講師：小澤櫻作(地域創造およびアフィニス文化財団ディレクター)、松本蘭(ヴァイオリニスト)

1月13日(水) 18:30～20:00 本学A地下100から 講師：大谷康子(本学教授、ヴァイオリニスト)

・連携センター設置、三大学連携研究会、ニューヨークへの研究出張等

(c) ACTプロジェクト(発足5年目)の活動としては、学生がホールコンサート、Jロビーコンサート、エリアコンサート、サイバーの4チームに分かれ、実体験活動を行った。この中で行われた主な演奏会等は次のとおり。

・レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート 2009

「コンポーザー・ピアニストたちの軌跡 一名演奏家が描いた音」

6月4日(木) 19:00 開演 サントリーホール ブルーローズ

採択制になってから本学が唯一毎回出演(8回連続)。

- ・Jロビーコンサート（東敦子メモリアル・シリーズ）
J館ロビーでの通算第53回から第59回までの7回のサロンコンサート。
- ・近隣施設からの依頼による訪問コンサート等
（私大等経常費補助金特別補助対象）
- ・よみがえる船上のハーモニー ～船の楽団再現コンサート
5月23日（土）10:30～12:30、14:30～16:30
- ・どうぶつたちのおんがくかい
3月9日（火）10:00 J館スタジオ（本学付属幼稚園との協力による。）
- ・演奏会企画ゼミナール
7/14(火)、9/9(水)、9/12(土)、9/24(木)、9/28(月)
- (d) 「キャリア教育に係る教職員研修（通算第4回）」を行った。
 - ・大学コンソーシアム京都主催 FD フォーラムに参加し、この内容を踏まえながら合宿形式で情報交換を行った。特に今年度は、三大学連携事業発足を受け、他の連携2大学教職員との交流を深めた。
3月6日（土）～7日（日）／京都
参加者：本学6名、昭和音楽大学4名、神戸女学院大学2名
中心となるテーマ：音楽コミュニケーション・リーダー養成に向けて
- (e) リーフレットや報告書を発行し、学内外に取組内容を発信した。
ACTプロジェクト成果報告書（2006～2008年度）
三大学連携事業リーフレット
三大学連携研究報告書

(6) 演奏活動

平成21年度は、授業の都合上SオーケストラがS1・S2オーケストラの2つに分けられたことで、8月に急遽S2オーケストラの京都演奏旅行が追加された。

また、対外的には本学学生の演奏レベルの高さが更に評価され、外部団体からの依頼による演奏会への出演回数も年々増加した。

① 本学主催の主要演奏会

- ・卒業演奏会 4月25日(土) 18:30 開演 トップホール 来場者数 385名
- ・学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会 室内楽部門
5月14日(木) 18:30 開演 トップホール 来場者数 257名
- ・学内オーディション合格者によるソロ・室内楽学内演奏会
5月20日(水) 16:00 開演 東京音楽大学100周年記念ホール
来場者数 404名
- ・学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会 ソロ部門
5月22日(金) 18:30 開演 トップホール 来場者数 246名
- ・シンフォニック ウインド アンサンブル特別演奏会
[指揮：加養浩幸 マリンバ：岩見玲奈]
7月8日(水) 18:30 開演 千葉県文化会館 来場者数 1431名
- ・シンフォニック ウインド アンサンブル定期演奏会
[指揮：加養浩幸 マリンバ：岩見玲奈]
7月9日(木) 18:30 開演 東京芸術劇場 来場者数 1749名
- ・第2回 声楽教員によるコンサート
9月14日(月) 18:00 開演 東京音楽大学100周年記念ホール
来場者数 806名
- ・第2回 東京音楽大学ピアノ教員によるコンサート
10月6日(火) 17:30 開演 東京音楽大学100周年記念ホール
来場者数 806名
- ・弦楽アンサンブル演奏会
[指揮・ハーブ：篠崎史子 演奏：アンサンブル・エンドレス]
10月22日(木) 19:00 開演 トップホール 来場者数 255名

- ・シンフォニーオーケストラ ユニセフ チャリティー演奏会 (広島)
[指揮：三河正典 オーボエ：鷹栖美恵子]
11月22日 (日) 14：00 開演 アステールプラザ 大ホール
来場者数 575名
- ・シンフォニーオーケストラ ユニセフ チャリティー演奏会 (名古屋)
[指揮：三河正典 オーボエ：鷹栖美恵子]
11月23日 (月・祝) 14：00 開演
愛知県芸術劇場コンサートホール 来場者数 1143名
- ・シンフォニーオーケストラ定期演奏会
[指揮：三河正典 オーボエ：鷹栖美恵子]
11月26日 (木) 19：00開演 東京芸術劇場 来場者数 1143名
- ・シンフォニーオーケストラ ユニセフ チャリティー演奏会 (京都)
[指揮：時任康文 ピアノ：仲田みずほ]
12月1日 (火) 19：00開演 京都コンサートホール 大ホール
来場者数 819名

② 本学主催のその他の演奏会

- ・ACTプロジェクト ロビーコンサートチーム主催 東 敦子メモリアル・シリーズ
12：00～12：40演奏 東京音楽大学 J館ロビー
5月21日 (木) 第53回 思い出のメロディー (ピアノ五重奏)
6月25日 (木) 第54回 くつろぎのひととき (ジャズ)
7月 2日 (木) 第55回 サウンド・オブ・ミュージック (声楽)
10月23日 (金) 第56回 歌とクラリネットの出会い(声楽&クラリネット)
11月20日 (金) 第57回 秋風にのせて (声楽&ピアノ)
12月18日 (金) 第58回 冬の訪れ (ヴァイオリン&チェロ&ピアノ)
2月24日 (水) 第59回 ロマンティック・サロン (声楽&ピアノ)
3月17日 (水) 第60回 歌を歌い続けた作曲家 (演奏者10名)
- ・演奏委員会主催 土曜コンサート 16：00 開演 東京音楽大学A200 教室
6月27日 (土) Vol.1 フルート四重奏
9月19日 (土) Vol.2 ピアノ三重奏
- ・マエストロ マリス・ヤンソンス氏&バイエルン放送交響楽団メンバーを迎えて
- ・バイエルン放送交響楽団メンバー&東京音楽大学学生による演奏会
11月13日 (金) 東京音楽大学100周年記念ホール、Bスタジオ他

③ 外部団体からの出演依頼などによる演奏会 (管弦楽・吹奏楽・合唱など)

- ・レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート2009
6月 4日 (木) 19：00 開演
サントリーホール ブルーローズ (小ホール) 来場者数 343名
- ・NHK交響楽団 第1650回定期演奏会 Cプログラム
合唱共演「メンデルスゾーン/劇音楽 [夏の夜の夢] 作品61」
[指揮：準・メルクル ソプラノ：半田美和子 メゾ・ソプラノ：加納悦子 語り：中井貴恵]
6月12日 (金) 19：00 開演 NHKホール
6月13日 (土) 15：00 開演 NHKホール
- ・日本フィルハーモニー交響楽団 第612回東京定期演奏会
合唱共演「ストラヴィンスキー/詩篇交響曲」
[指揮：広上淳一]
7月10日 (金) 19：00 開演 サントリーホール
7月11日 (土) 14：00 開演 サントリーホール
- ・みないけクリスマスコンサート
[指揮：山本孝 演奏：東京音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブル]
12月6日 (日) 13：00 開演 東京音楽大学J館スタジオ
- ・第1回 音楽大学オーケストラフェスティバル (共演：国立音楽大学)
[指揮：時任康文 演奏：東京音楽大学シンフォニーオーケストラ]
12月13日 (日) 15：00 開演 東京芸術劇場 来場者数 1417名

- ・日本フィルハーモニー交響楽団「第9交響曲」特別演奏会2009
 合唱共演「ベートーヴェン／交響曲第9番 ニ短調 作品125《合唱》」
 [指揮：小林研一郎]
 ソプラノ：菅英三子 アルト：相田麻純 テノール：錦織健 バリトン：青戸知
 12月19日(土) 14:30 開演 サントリーホール
 第253回 横浜定期演奏会
 12月26日(土) 18:00 開演 横浜みなとみらいホール
- ・日本フィルハーモニー交響楽団「第9交響曲」特別演奏会2009
 合唱共演「ベートーヴェン／交響曲第9番 ニ短調 作品125《合唱》」
 [指揮：広上淳一]
 ソプラノ：釜洞祐子 アルト：重松みか テノール：錦織健 バリトン：河野克典
 12月22日(火) 19:00 開演 東京芸術劇場
 12月23日(水・祝) 14:30 開演 横浜みなとみらいホール
- ・日本フィルハーモニー交響楽団 第618回東京定期演奏会
 合唱共演「モーツァルト／ミサ ハ短調 K. 427《大ミサ曲》」
 [指揮：アレクサンドル・ラザレフ]
 ソプラノⅠ：天羽明恵 ソプラノⅡ：加納悦子 テノール：鈴木准 バス：成田眞
 3月12日(金) 19:00 開演 サントリーホール
 3月13日(土) 14:00 開演 サントリーホール
- ④ 外部団体からの出演依頼などによる演奏会(ソロ・アンサンブルなど)
 - ・日本ピアノ調律師協会主催 第10回 新人演奏会
 4月26日(日) 17:00 開演 東京文化会館小ホール
 - ・読売新聞社主催 第79回 新人演奏会
 5月4日(月・祝) 11:00 開演/17:00開演 東京文化会館大ホール
 5月5日(火・祝) 11:00 開演 東京文化会館小ホール
 - ・JT主催 JTアフタヌーンコンサート(年間3回出演)
 12:20~12:50演奏 JTアートホール アフィニス
 5月18日(月) 声楽(ソプラノ&テノール)
 7月28日(火) ピアノ五重奏
 12月11日(金) ピアノ四重奏
 - ・豊島区主催 豊島区庁舎ロビーコンサート(年間5回出演)
 12:15~12:45演奏 豊島区庁舎1階エントランス
 5月20日(水) サクソフォーン四重奏
 7月15日(水) 声楽(ソプラノ&テノール)
 9月16日(水) ジャズ・トリオ
 11月18日(水) ピアノ独奏&連弾
 1月20日(水) 弦楽四重奏
 - ・カワイ音楽振興主催 東京音楽大学 表参道サロンコンサート(年間4回出演)
 19:00 開演 カワイ表参道 コンサートサロン「パウゼ」
 6月3日(水) Vol.6 佐藤彦大ピアノリサイタル
 10月7日(水) Vol.7 市川真一郎・高橋ドレミ ジョイントリサイタル
 12月19日(土) Vol.8 原田絵里香ピアノリサイタル
 2月3日(水) Vol.9 江夏真理奈ピアノリサイタル

(7) 東京音楽大学コンクール

2009年度 第8回 東京音楽大学コンクール

- ① 管打楽器部門 予選 10月19日(月) 10:00 開演 53名受験
 本選 10月29日(木) 10:00 開演 5名受験
- 《審査結果》 第1位 日橋辰朗(ホルン) 第2位 氏家史人(トロンボーン)
 第3位 上野大介(トロンボーン)

- ② 弦楽器部門 予選 11月11日(水) 10:00 開演 23名受験
 本選 11月19日(木) 10:00 開演 5名受験
 《審査結果》 第1位 堀江牧生(チェロ) 第2位 巖築朋美(ヴァイオリン)
 第3位 岩田 唯(ヴァイオリン)

(8) 招聴者による公開レッスン

演奏者による実技レッスンばかりではなく、オーケストラメンバーによる指揮のレッスンなど、いろいろな角度からの内容を可能な範囲で実施。

(9) 教職課程

「教職実践演習」の課程認定を申請。認可を待っている。教職課程【学科】部会、学生指導の改善、向上を図り、実習校、体験先との連携にも努めている。

- ① 教育実習(実習期間:平成21年5月~11月)
 教育実習を行った学生数 209名
 実習校:中学校102名 高等学校83名 中高一貫校23名 特別支援学校1名
- ② 教員免許状
- | | | | |
|---------------|------|----------|------|
| 教員免許状申請数 | 450件 | 教員免許状授与数 | 430件 |
| 内訳:中学校教諭一種免許状 | 188件 | | 179件 |
| 高等学校教諭一種免許状 | 202件 | | 191件 |
| 中学校教諭専修免許状 | 28件 | | 28件 |
| 高等学校教諭専修免許状 | 32件 | | 32件 |
- ① 介護等体験
 介護等体験を行った学生数
 内訳:社会福祉施設での体験者数 214名
 盲・ろう・養護・特別支援学校での体験者数 213名
 体験期間
 社会福祉施設:平成21年8月~平成22年2月の間で5日間
 盲・ろう・養護・特別支援学校:平成21年6月~平成22年2月の間で2日間

(10) 国際交流

① 短期留学

短期留学奨学金による短期留学は、モーツァルテウム国際サマー・アカデミーへ10名、ハノーファー音楽・演劇大学へ1名が派遣された。専攻別の派遣者数は以下の通り:

モーツァルテウム国際サマー・アカデミー

- | | |
|-------|---------------------|
| 声楽 | 3名 |
| ピアノ | 2名 |
| 弦楽器 | 2名(ヴァイオリン) |
| 管・打楽器 | 3名(クラリネット1名、フルート2名) |

ハノーファー音楽・演劇大学

- | | |
|-----|----|
| ピアノ | 1名 |
|-----|----|

後述のように、提携・協定校が増えるに従い、数ヶ月単位の短期留学の可能性も広がると考えられるが、学生にとっては夏期休暇中に参加できる講習会の方が金銭的にも負担が軽くて済むという利点があるということは留意しておく必要がある。

② 招聘者による公開レッスン等(演奏課との共同作業)

初めてピアニストによるジャズの公開レッスンが行われた。講師のヤブロンスキー氏はクラシックの演奏家として有名であるが、ジャズの演奏もなさるということで実現した。ジャズとクラシックの演奏の違い等に関する話もあり、非常に興味深いものであったが、通常の枠を越えた内容ということで今後の催しの可能性を示唆するものだと思う。

③ 海外音楽大学との交流

ハノーファー音楽・演劇大学へ交換留学生として1名(ピアノ専攻)が派遣された。また平成22年度のシベリウス・アカデミーへの短期留学生(ピアノ専攻対象)の募集を10月に行い11月のオーディションで合格者があり、決定は3月末になった。

海外音楽大学との交流については、現在新たにリスト音楽院(平成22年3月に調印済み)、中国の西安音楽院、イギリスのギルドホール音楽院との話し合いが進んでいる。

平成22年3月末から4月初めまでピアノ専攻学生30名による10日間のヨーロッパ研修旅行が行われた。行き先はブダペスト、パリ、ノアーンで、ブダペストではリスト音楽院教授によるレッスンを25名が受講、同音楽院で行われた交歓演奏会には10名が出演し、パリでのベロフ教授によるレッスンは7名が受講した。

④ 留学相談

留学希望者を対象に、随時相談を受け、必要に応じて提出資料に関する指導等を行っている。

(11) 学生支援・キャリア支援

平成19年7月、音楽大学の特性に沿ったキャリア支援を進めるためキャリア支援室を新設、以降2年間の実績を対象に、平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」に採択された。平成21年8月、キャリア支援室と学生課が統合され、「学生支援課」としてまたさらに新たな視点から活動を展開していくことになった。

① 平成21年度学生支援課(学生課・キャリア支援室)事業計画の重点項目

(a) 学生支援

1. 学生の心身にわたる健康保持と増進、安全・衛生への配慮
2. 課外活動に対する指導・支援
3. 学費未納者に対する指導
4. 学生のマナー向上推進
5. 練習環境の整備

(b) キャリア支援

1. 「就職講座」の拡大
2. 「夏期特別セミナー」の開催
3. キャリアアップ支援プログラムの検討・推進

② 健康増進、メンタルケア

(a) 健康診断の学生受診者数1648名(92.8%)、教職員受診者数320名(52.5%)。

(b) 新入生を対象にUPI調査 精神衛生面での特徴や傾向を把握する調査で、必要に応じて面接を実施した。面接率15%。

③ 学生教育研究災害傷害保険加入状況(教育研究活動中の事故等についての保険)

学部441名、大学院126名。特約にてインターン保険5名、介護実習保険217名。

④ 学費延納届

前期提出者49名、後期提出者34名。経済的理由による除籍者は0名、同じく休・退学者は約10名。

⑤ コンクール入賞登録受付件数は115件。

⑥ 「夏期音楽特別セミナー」開催

8月24日～25日の2日間で開催され、全国から107名がエントリー(内卒業生約8割)。本学教授・講師陣による個人レッスン(音楽・コレペティートル計73コマ)をはじめ、公開講座・公開レッスン・演奏会等多彩な内容で行った。この音楽セミナーでは、卒業生からは再び母校で学ぶ感激を味い、一般参加の方々には内容の濃いセミナーを実感していただくことができた。

⑦ 「音大生のためのパーソナルキャリア支援プログラム」

文部科学省採択補助金事業の名称。実社会で役立つ講座(キャンパス英会話)、就職・教養講座を実施。

⑧ 学生食堂の業務委託

平成19年4月1日から西洋フード・コンパスグループ(株)に学生食堂の業務委託を行っていたが、平成22年3月末日で契約期間が終了することに伴い、学生食堂選定委員会を設置して選定作業を行った結果、平成22年4月1日から(株)アイビー・シー・エスに変更することとした。

(12) 地域連携

① 地域連携「としまコミュニティ大学講座」の開催

(a) 打楽器講座～大きな太鼓と小さな太鼓～

7月18日(土) 15:00～17:00 Bスタジオ

講師：菅原 淳 (東京音楽大学教授)

(b) 原語で歌うイタリア歌曲講座～今日からあなたも歌手になる～

11月5日(木) 18:30～20:30 B500 教室

講師：高橋 啓三 (東京音楽大学教授)

(c) オペラ入門講座モーツァルト『魔笛』に挑戦! (5回シリーズ)

第1回 モーツァルトと『魔笛』について

12月7日(月) 18:00～20:00 B500 教室

講師：坂崎 則子 (東京音楽大学教授)

第2回 演出家から見たオペラ「魔笛」

12月14日(月) 18:00～20:00 A200教室

講師：伊藤 隆浩 (東京音楽大学専任講師)

第3回 「魔笛」のARIAを歌ってみよう

1月25日(月) 18:00～20:00 A200教室

講師：高橋 啓三 (東京音楽大学教授)

第4回 オペラの練習風景をのぞいてみよう「魔笛」稽古場見学

2月1日(月) 18:00～20:00 Bスタジオ

講師：高橋 啓三 (東京音楽大学教授)

第5回 オペラを観よう! 「魔笛」

2月7日(日) 14:00～17:00 A館ホール

出演：東京音楽大学大学院生、他

② みないけクリスマスコンサート

12月6日(日) 13:00 開演 東京音楽大学J館スタジオ

南池袋小学校PTA行事としてコンサート開催を計画し、本学シンフォニック ウィンド アンサンブル有志が演奏。

(13) 大学院

平成21年度大学院オペラ研究発表

「ハイライト」	平成21年10月15日(木)	100周年記念ホール
「夕鶴」	平成22年2月6日(土)	100周年記念ホール
「魔笛」	平成22年2月7日(日)	100周年記念ホール

6. 付属図書館

(1) 全般 20年度からの継続課題、新規課題として、以下の項目を重視してきた。

- ① 人件費の削減による業務の外注化促進
- ② 利用者の多い視聴覚設備サービスの再検討
- ③ 貴重資料の保存対策
- ④ 音楽図書館協議会の「40年史」編集委員会の事務局
- ⑤ 図書館のメディアセンター化の検討継続
- ⑥ 貴重資料取扱規程、研究紀要編集委員会規程、選書委員会規程の検討

(2) 資料係

- ① 1年間の資料受入数は、購入・寄贈を含め以下の通り。
楽譜： 822点 和書： 489点 洋書： 229点
録音： 1194点 映像： 125点
- ② 除籍数は、合計567点となっている。
- ③ 選書業務：和書、和楽譜を除く選書業務を音楽学専任教員に委託を継続。職員による選書作業の負担は軽減されている。
- ④ 3階書架不足対策として、第2書庫に書架を増設し、3階書庫から一部音楽書を移動。
- ⑤ 貴重書整理：明治から昭和にかけて発行された未受入古書の整理、マイクロ化。

(3) 情報サービス

- ① OPAC 及び利用ガイダンスの開催 (学部生、院生、高校生向け)
- ② 音楽系データベースの利用説明会
- ③ 督促業務について
毎週水曜日にパート職員による電話督促を行う。
長期休暇に入った際も電話督促を行った為に、2ヶ月以上の長期延滞者は激減した。
- ④ ライブラリーサポーター (院生によるレファレンス、相談コーナー) の設置と支援
- ⑤ としま図書館ネットワークの活動支援

7. 付属高等学校

ハワイ大学語学研修旅行は、新型インフルエンザの全国的流行のため、その影響を考慮し、5月末の段階で、その実施を敢えて中止することに決定した。

また、同じくインフルエンザ流行の影響により、10月期に第1学年及び第3学年について、それぞれ4～5日間の学年閉鎖の処置を取った。

12月8日に東京芸術劇場で開催したチャリティーコンサートは、今回もこれまで同様会場がほぼ一杯になるほどの入場者を得て、盛況裏に終わった。

生徒募集については、昨今の少子化現象に加えて、20年度後半から日本にも襲った世界的経済不況の更なる加速、及び政府の平成22年度からの「公立高校授業料無償化」への動きも併せて、22年度に向けた募集の状況は、特に近年にない大変に厳しいもので、初めて受験者数が100名を割る事態となった。しかも、合格後の辞退者数も、これまた従来の数を大きく上回り、最終入学者数が定員数ぎりぎりとなった。

今後更に生徒数確保の面では厳しくなっていくものと思われ、真剣に対策を講じていく必要に迫られていると認識している。その中でも特に優先されるべきは、教育内容の充実、教員の指導力強化であり、この点で更に一層の努力をしていくことが大切と考えている。

(1) 生徒在籍数及び21年度卒業生進路状況

平成21年度 合計244名 (平成21年5月1日現在)

平成22年度 合計240名 (平成22年4月1日現在)

平成21年度卒業生進路状況

東京音楽大学進学65名 他の進路 (他大学・専門学校等) 10名

(2) 年間の行事について

① 体育祭 (5月28日/東京武道館)

② 交歓演奏会 (6月6日/大学100周年記念ホール)

他の音楽高校の代表生徒を招待し、互いの演奏を鑑賞し、交流を目的としている。昨年度は、参加校が国立音楽大学附属高校・東京芸術大学音楽学部附属音楽高校・桐朋女子高校・洗足学園高等学校・都立芸術高校の5校。本校からは3名の生徒が出演。

③ 1年生校外教室 (7月14日～16日/福島・ブリティッシュヒルズ)

団体生活を通じて、英語圏の文化に触れると同時に、お互いが親交を深めることを目的に実施。

近隣の小学校教員 (教頭) をしている在籍生の父親が現地での有志演奏を見学に来られ、その結果、次回は自分の勤務する小学校でぜひ演奏をしてほしいとの要望が出され、平成22年度は正式な企画として該当小学校での演奏会実施を計画している。

④ 文化祭 (音羽祭・「東京都教育の日」推進事業) (10月31日・11月1日 高校校舎)

2日間で674人の来場者

⑤ オペラ発表会 (11月14日/大学J館スタジオ)

声楽演習授業の発表の場として「フィガロの結婚」を上演。

⑥ チャリティーコンサート (12月8日/東京芸術劇場)

毎年、売上の一部をユニセフへ寄付することを目的に実施。昨年度同様、100万円を寄付。

⑦ アンサンブル演奏会 (12月20日/大学100周年記念ホール)

⑧ 卒業演奏会 (3月13日/大学100周年記念ホール)

3年実技優秀者7名が出演。

(3) 受験講習会

夏期受験講習会 (7月26日～30日/大学校舎) 参加者124名。

冬期受験講習会 (12月23日～27日/大学校舎) 参加者126名。

(4) 入学試験

平成22年度 付属高等学校入学試験受験者数・合格者数及び入学者数
推薦入学試験（平成21年1月22日 発表23日）
出願者：17名 合格者：7名 入学者：7名
一般入学試験（平成21年2月11・12日 発表13日）
出願者88名（内2名は2年編入志願者）
合格者：新入81名 編入2名
入学者：63名+2名（編入） 辞退者：18名
最終入学者数：70名

8. 付属幼稚園

本年度の重点項目の実績と成果

- ①入園考査及び在籍数 20～22年度
22年度入園児はわずかであるが、上昇した。
- ②保育料及び音楽・英語授業料の見直し
年間総額（ ）内は改正前
年少 613,000円（668,000円）
年中 670,500円（748,000円）
年長 718,000円（848,000円）
- ③複数就学児減免制度の新設
適合児数 3組
- ④平成21年度ピッコロランド開催日を、それまでの月1回から月2回（4コマ）に増強。
参加幼児 1回平均18名 前年度総参加者より約39%増
- ⑤預かり保育の開始（新設）
今年度は週2回 14：00～15：30で行った。
延べ利用者数 65名
- ⑥課外授業の導入
外部委託し、降園後の課外授業を導入した。
 - ・絵画造形教室（河合絵画造形教室）
月曜日 14：20～15：20 約25名受講
 - ・体操教室（ジャクパ）
木曜 14：10～15：10、15：20～16：20 約25名受講
- ⑦付属高校生、大学生、教員による演奏。本年も多く生の演奏に触れ園児達に感動を与える事が出来た。特に植田講師によるパイプオルガン演奏は園児、保護者に大好評であった。
- ⑧児童部、音楽教室への進学数
本年卒園児28名中、児童部へ16名、音教へ4名の計20名が進学し、大幅に上昇した。
- ⑨卒園児の付属高校への進学状況
3名進学
- ⑩H21年度卒園児の進学先
- ⑪主要行事

9. 付属音楽教室

4歳児～中学3年生を対象に、充実した教育活動を展開している。
レッスンでは生徒一人ひとりの能力や適性を見極めて指導を行い、ソルフェージュ授業においては、音感教育に加えて音楽理論の指導も重視し、総合的な音楽性を育てている。
約100名もの生徒が在籍し、試験や演奏会では同年代の生徒同士が互いに切磋琢磨することによって、教室全体の更なる向上を目指している。
また、付属幼稚園から付属高等学校への橋渡し役の第一歩として、付属幼稚園からの入室生徒のきめ細かい指導にあたり、優秀な生徒を大学へと繋げていくよう配慮している。
さらに、外部の優秀な生徒の獲得を目的として、平成21年度から新たに「ピアノオープンシステムコース」を開設した。在室生と同様の専門的なソルフェージュ授業を行い、さらに希望者への実技レッスンでは一般のピアノ教室では得られない高度な音楽的指導を行った。この新システムにより、付属高等学校への進学希望者

を着実に育てている。

- ・7月19日 学外演奏会（トッパンホール）
- ・11月14日 学内演奏会（本学100周年記念ホール）

10. 付属民族音楽研究所

民族音楽研究所では、アイヌ音楽・ガムラン音楽など主にアジア地域における民族音楽の研究を続けている。社会人講座、公開講座などを実施、研究活動の一層の充実を図った。

(1) 社会人講座

① 平成21年4月～平成21年2月（全36回）

- 演奏講師 : 佐藤まり子
- 舞踊講師 : 針生すぐり
- 演奏アシスタント : 小野慎一郎
- 演奏アシスタント : 前野敬一

「ガムラン音楽教室」(演奏コース・舞踊コース)

受講者数：演奏コース33名 舞踊コース23名

2009年度ガムラン音楽教室発表会

平成22年2月27日（土）J館スタジオ

来場者220名

2010年ジャワガムランコンサート 「散華」佐藤まり子先生退職記念

出演：東京音楽大学社会人グループ アネカサリ

平成22年3月27日（土）B館スタジオ

来場者：230名

② 平成21年5月～7月「09春期 民族楽器入門講座」

6講座実施 5回～6回の短期講座 受講者数：66名

- ・「のどろたと口琴講座」(全6回) 講師：直川礼緒
- ・「ジェンベ入門講座」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「タブラ入門講座」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「インドの歌を歌おう!!」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「トンコリ入門講座」(全6回) 講師：千葉伸彦
- ・「リズム・エヴォケーション講座」(全6回) 講師：有賀誠門

③ 平成21年10月～12月「09秋期 民族楽器入門講座」

6講座実施 5～6回の短期講座 受講者数：56名

- ・「ジェンベ入門講座」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「タブラ入門講座」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「インドの歌を歌おう!!」(全5回) 講師：若林忠宏
- ・「トンコリ入門講座」(全6回) 講師：千葉伸彦
- ・「トンコリ中級講座」(全6回) 講師：千葉伸彦
- ・「リズム・エヴォケーション講座」(全6回) 講師：有賀誠門
- ・「のどろたと口琴講座」(全6回) 講師：直川礼緒

(2) ガムラン演奏コース授業（木曜6限・7限）

講師 : 佐藤まり子

アシスタント : 小野慎一郎

履修学生：14名

10月31日 芸術祭にてコンサート開催（A館A100教室）

出演者：履修学生，社会人クラス

来場者：90名

(3) 公開講座

① 「モンゴル人の魂・馬頭琴」

日時：2009年12月16日（水）18:30開演（18:00開場）

場所：東京音楽大学J館スタジオ

来場者140名

《出演者》

馬頭琴：斉・布日古徳(チ・ブルグッド)、美炎(miho)

ピアノ：長尾博子

プログラム

【1部】馬頭琴の歴史

賛歌

四才の仔馬

ジュスレー

【2部】近代馬頭琴の発展と改良

《斉・宝力高(チ・ボラク=モンゴル人間国宝)作品を中心に》

昇る太陽

宴の歌

心の詩

万馬のとどろき

【3部】現代馬頭琴の発展

ロマンス

東の空

砂の記憶

(4) 『日本の音』夏期特別体験講座

主催：邦楽研究室

共催：民族音楽研究所

日時：平成21年8月6日(木) 10:30~17:00

会場：東京音楽大学 J館スタジオ・地下分奏室・A館地下102・会議室

受講対象 主に教職従事の卒業生・在校生・院生・教職員

関東圏の中・高等学校音楽教員

内容 実習Ⅰ・Ⅱにおいて、能管、小鼓、大鼓、太鼓のうち、二種類を各15名クラスに分け、実習を行う。能楽四拍子の概論及び楽器の組み立て方から習得法等を、実習と共に、対話形式での講義を行う。また状況によりアンサンブルにも挑戦する。

講師

【能管】 八反田 智子 (一噌流笛方) 【小鼓】 田邊 恭資 (大倉流小鼓方)

【大鼓】 大倉 栄太郎 (大倉流大鼓方) 【太鼓】 大川 典良 (金春流太鼓方)

【総括・講義】 池田 万里子 (本学講師)

受講人数：能管 30名、小鼓 35名、大鼓 30名、太鼓 26名

(5) 講演「童話雑誌『赤い鳥』にゆかりの童謡について」

豊島区・東京音楽大学附属図書館・東京音楽大学附属民族音楽研究所 共同企画

日時：平成22年2月13日(土) 14:00~

会場：東京音楽大学 A200 教室

講師：甲田 潤 (東京音楽大学附属民族音楽研究所専任研究員)

出演：ソプラノ 弓田真理子、ピアノ 東 由輝子、女声合唱 Chor June

参加者数：150名

以上